

第4回テーマ別検討会議

平成30年1月13日

本日のプログラム

1. はじめに 【25分】
2. グループ分け 【10分】
3. ワークシヨツプ 【95分】
4. 全体発表 【10分】
5. ふりかえり 【5分】
6. あいさつ・写真撮影 【5分】

おさらい

総合計画（愛称：ながくて未来図）とは、

長久手市が目指す10年後の姿や

そのための取組を示す

「まちづくりの指針」となる

大切な計画です。

総合計画は、一般的に三層構造をなす

- ・ 目指すまちの姿（＝大まかな方向性）を示したもの
まち全体の**将来像**
カテゴリーごとの具体的な目指すまちの姿「**基本目標**」

概ね10年

基本
構想

概ね10年

基本計画

- ・ 基本構想実現のための**手段（取組）**
をまとめたもの。

概ね
3年

実施計画

- ・ 基本計画で定められた手段（取組）が
現実の行財政の中で実施していくか
まとめたもの

3つのSTEPを踏んできました



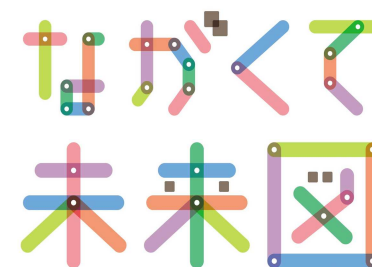
これまでの取組
～STEP①準備期～

① 総合計画基礎調査

⇒人口推計、市民意識調査等

② 総合計画愛称総選挙

⇒「ながくて未来図」に決定！



これまでの取組
～STEP②「みんなの想い集」作成期～

① キックオフパーティー（2回）

策定作業のキックオフとして、“出会う”“知り合う”“語り合う”をテーマに、開催



《参加者》 延べ249名

《成果》 「将来」に関する意見（5/28）と
「現状の魅力」に関する意見（7/9）をもらう

② 知って、話して、考える Think Nagakute キャラバン

「総合計画」と「自治基本条例」づくりについて、知ってもらい、話して、考えるワークショップを全6小学校区で開催



《参加者》 延べ243名

《成果》 「現状の課題」に関する意見をもらう

③ 小中学生からの意見

市内の小学生・中学生を対象に、『まちの将来を考える「～だったらいいネ！」』をテーマに、「**将来**」に関する意見をもらう
(2,962名)

④ 団体ヒアリング

市内で活動している市民団体 30 団体にヒアリングを実施し、「**将来**」「**現状**」に関する意見をもらう

集めた意見を「みんなの思い集」にまとめました！

みんなの思い集とは・・・

次期総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定にあたり、様々なカタチで、関わっていただいた**延べ3,474人の“思い”をまとめた資料**

大切にしたい5つの視点

どのカテゴリーの取組を進める上でも重要となる視点

笑顔

あいさつ

役割

つながり

愛着

6つのカテゴリー

それぞれのカテゴリーごとに、具体的な目指すまちの姿となる基本目標を設定します

人づくり

子ども

自然環境

生活

交流

都市整備

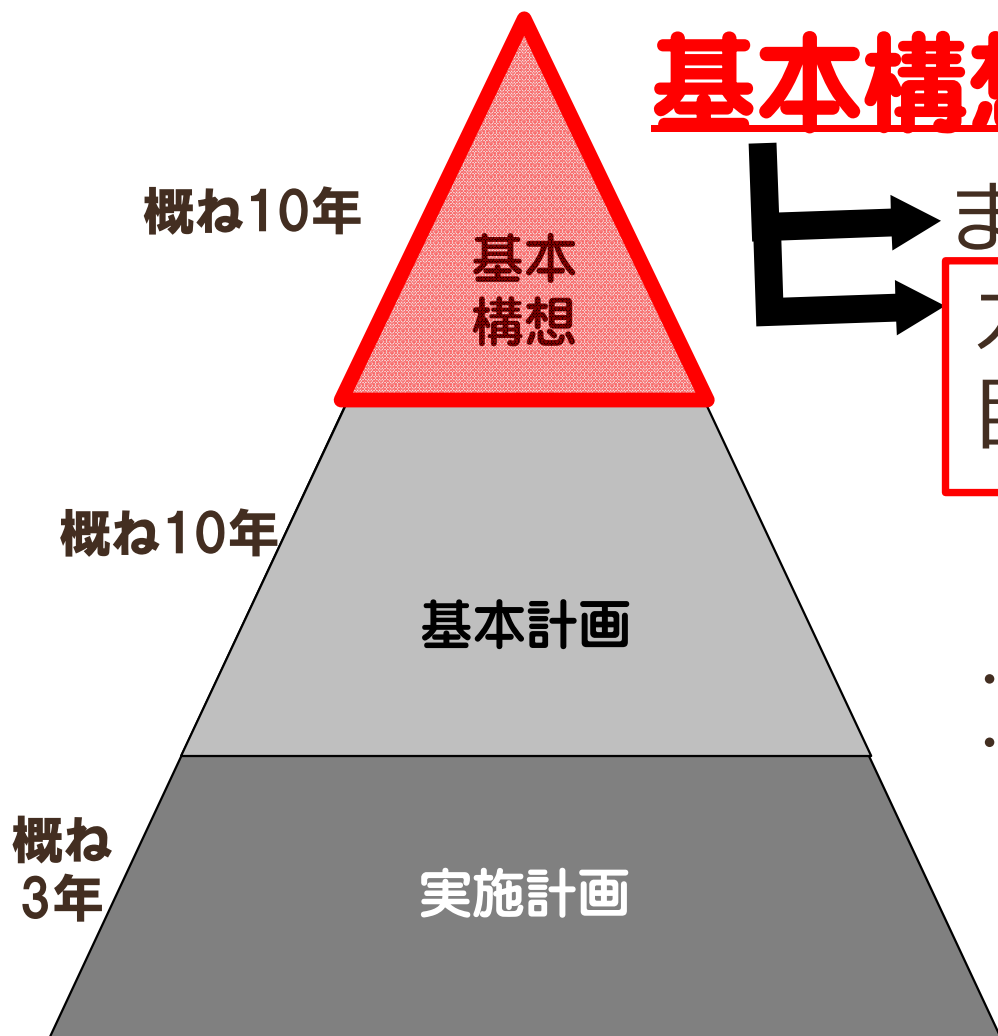
みんなの思い集から、

「大切にしたい5つのモノ」「6つのカテゴリー」を導きました。

これまでの取組
～STEP③理想の未来描き期～

『みんなの思い集』を踏まえ、 テーマ別検討会議①～③で

基本構想をつくる



まち全体の**将来像**

カテゴリごとの具体的な
目指すまちの姿「**基本目標**」

- ・ 多くの方に楽しみながら考えてもらいたい
- ・ できた基本構想に興味を持ってもらいたい

⇒ **カテゴリごとの**

2028年の理想の姿を

「物語」として描く！⁵

① 第1回テーマ別検討会議（10/21）

「みんなの思い集」で導いた6つのカテゴリーごとに「理想の未来のシーン」を考える



② 第2回テーマ別検討会議（11/3）

- ・ 第1回で抽出した理想の未来に必要な要素をもとに、物語をつむぐ
- ・ まち全体の将来像の検討



③ 第3回テーマ別検討会議（11/26）

- ・ 第2回で作成した未来の物語のたたき台をもとに、足りない視点などを話し合う
- ・ まち全体の将来像の検討



その結果…

**7つの“ながくて未来の物語”
ができました！**

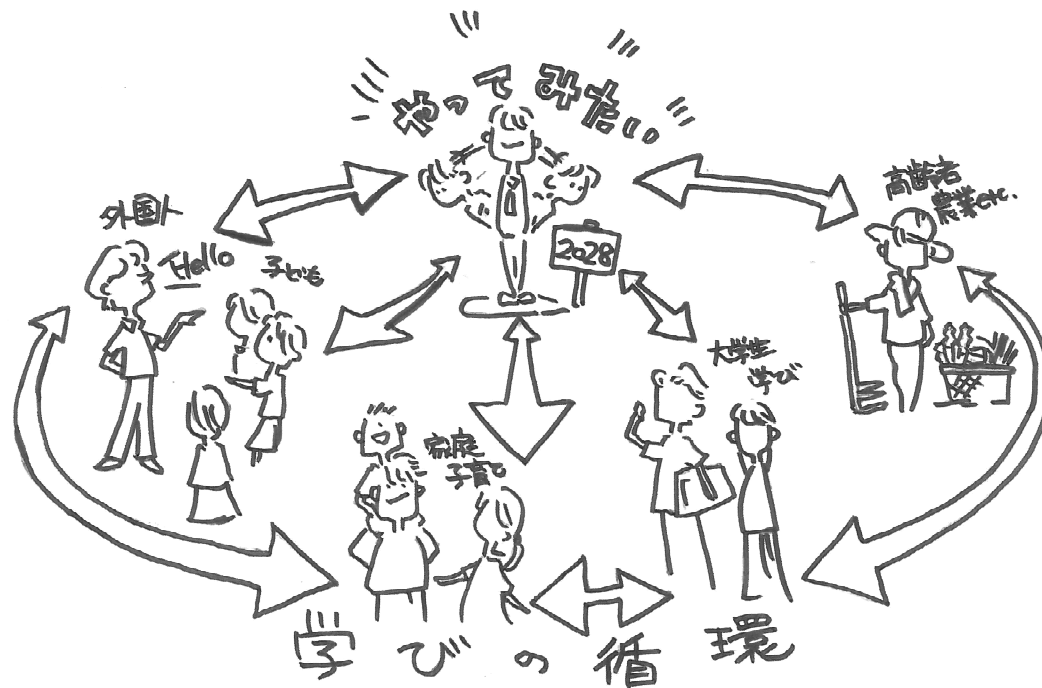
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

人づくり 編



「やってみたい」でつながるまち



人づくり編 「やってみたい」でつながるまち

2028年。長久手に生まれ、長久手に育ち約21年が経った。長久手も随分発展したけど、私も長久手に随分「育ててもらった」感じがする。

小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会は多かった。学校でも「まち」について学ぶことがあったし、「地域コミュニティ」という言葉は当時知らなかったけど、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を、なんとなく周りの大人達から感じていた。

その影響もあってか、長久手には愛着があり、卒業後の「生き方」についても、ふるさと長久手のことを意識せざるを得ない。

私たちが生きる時代は、「人生100年時代」と言われているが、ここ長久手では、“働き直し・学び直し”ができる環境があり、いつでも、誰でも「やってみたい」が叶う仕組みが整っている。私の大学の先輩で、一度就職で長久手を出てから、また長久手で働き直している人がいるし、一度退職した女性が働き直すこともよくあると聞く。長久手でそのようなことが起こる理由の一つは、“働き直し・学び直し”の拠点があるからだ。地域共生ステーションや私が通う大学などの市内の学び舎が拠点となり、ここに、高齢者や障がいのある方、子ども、大学生、会社員、子育て中の夫婦、起業家、外国の人など、多様な人達が集まる場になっている。そこで、お互いの知っていることや得意なことを引き出し合いながら、時には教え、時には教えられる「学びの循環」が起きており、人が育ち、つながりも生まれ、コミュニティも育っている。

卒業後も愛着ある長久手に暮らし、「やってみたい」ことにチャレンジし、楽しみながら育っていこう。そして、今度は、私も、誰かを、長久手を育てていこう。

総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

子ども 編



子どもが感性豊かに生きられるまち



子ども編 子どもが感性豊かに生きられるまち

2028年。2歳と4歳と7歳。3人の子ども達と毎日楽しく暮らせている。

運動が得意な子、苦手な子、お話しするのが好きな子、苦手な子、本が読むのが好きな子、苦手な子、障がいがある子、ない子、それぞれが子ども達の大切な「個性」として受け入れられ、長久手の子ども達は、よく遊び、よく泣き、よく悩み、よく笑い、感性豊かに育つと友達から聞き、結婚を機に、隣町から長久手に引っ越してきたけど、その噂は本当だったみたい。

転出入の多いまちのせいか入ってくる人に対して地域の人が気にかけてくれるし、地域の行事に参加しているうちに、関係性が築けてきて、子育てを通じて自由な交流やつながりが生まれた。最初は、自分の子どもを人に預けることに抵抗があった私も、いざというときに、お互いに頼れるネットワークができた。地域の人と関わることに消極的だった夫も、気付けばパパ友ができ、情報交換や一緒に地域活動もしているみたい。

働きながらの子育ては不安だったけど、家族の理解や支え合い、産み育てる環境の整備、困った時にふらっと気軽に相談しにいける場があり人がいるおかげで、何かあったときの心のよりどころになっているなあ。

親も地域の方もみんなが子どもたちをあたたく見守り受け入れてくれていて「まち全体で子育てをしている」ような、そんな雰囲気があるから、きっと子ども達は自然の中で、まちの中で、のびのびとありのままに生きられ、感性が育っているんだと思う。そして、そんなまちで暮らす大人達も、のびのびいきいきと暮らしていると感じる。

「このまちで育った子どもたちはどんな大人になるのかな？」思わずそう考えてしまう大人は私だけでないはず。そんなまちってやっぱり素敵。

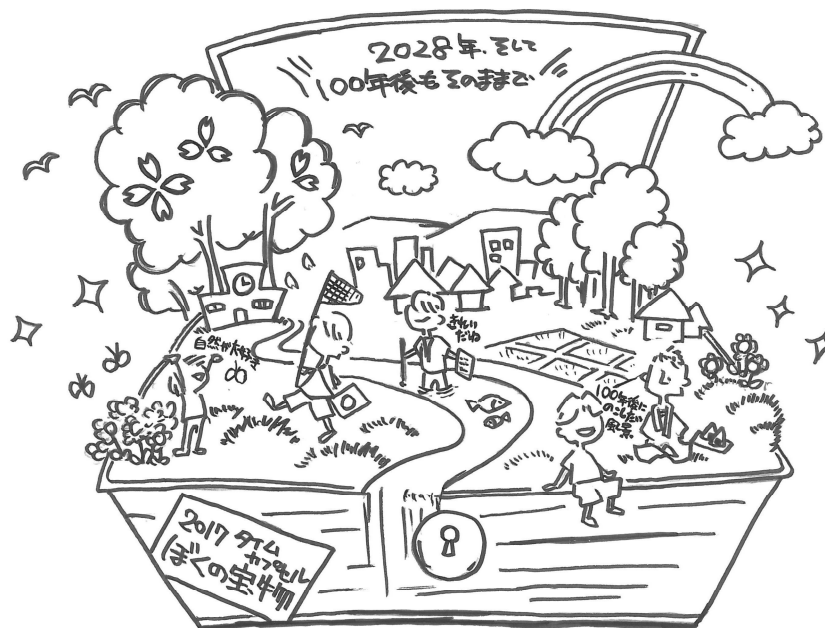
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

自然環境 編



みんなでみらいへつなぐ
みどりはまちの宝物



2028年。長久手に暮らして40年。私が生まれ育った長久手は今でも豊かな自然に恵まれている。自宅があるまちの西の方の都市部には、公園や街路樹など至るところに“みどり”があり季節を感じられる。まちの東の方では、田畑や里山があり、自然の雑木林の中では子どもたちが駆け回り、同じ市内にいながら自然を存分に感じられる。

私も参加しているが、香流川では、地域で清掃活動が行われとてもきれいだ。みんなこの川を愛し、カワセミが住みついでいて、いろいろな生き物からも愛されている。中には田畑や自然を荒らしてしまう動物もいるけど、地域や行政で協力して対策をしながら、いろんな生き物と共存している。

小さい頃は気付かなかったけど、こうして今でも、子ども達が雑木林を駆け回れたり、田んぼも里山も香流川も、美しく保たれているのは、その時代時代に、この自然を愛し守る人たちがいて、それを受け継ぐ人がいるからなんだ。休耕田になっていたようなところも、「みんなで受け継ぐ」という意識から、地域で協力して管理したり、若い後継者につないだりができてきているように感じる。

私も、このまちの宝物である美しい自然を守り、また次世代につないでいきたいと思っている。

今ある自然をほったらかしにするのではなく、「まちの宝物」として、人の手を入れながら、みんなで未来へ残していくという意識こそ、まちの宝物なのかもしれない。

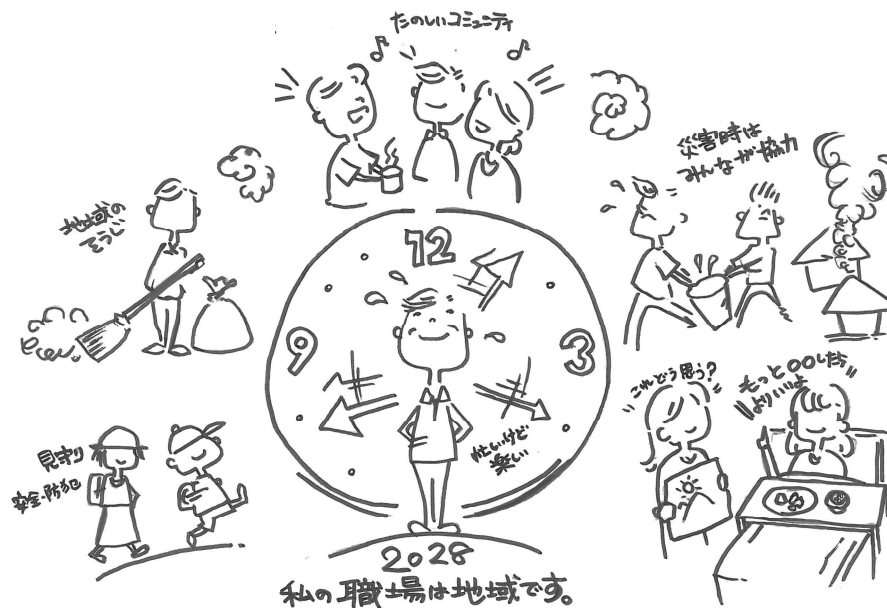
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

生活 編



みんながつながり、
誰もがいきいきと安心して暮らせるまち



生活編 みんながつながり、誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

2028年。退職してから、もう5年になるかな。もしかしたら、仕事をしていたときより、働いているかもしれない。今の職場は、「地域」だけど(笑)

働いているときは、家と職場の往復だけだった。たまたま自治会長になったのをきっかけに、いざ退職して地域デビューしてみると、地域には、実にさまざまな「役割」があるもんだ。なかなか地域に出られなかった自分が、今では、いろんな人の「地域デビュー」のきっかけづくりの「役割」を担ってるなんてことを10年前の自分に言っても、きっと信じてもらえないだろうな(笑)

「役割」で言うと、長久手市では、生活する上で、誰かが困っていることを、家族でできることは家族で、地域でできることは地域で、行政がやらねばならないことは行政で、とうまく役割分担をしながら、解決できていると感じる。

「地域のみんなのできることはみんなでやろうよ」という意識が根付いているからか、世代や住んでいる年数も関係なく、地域のつながりも強く、まちでよくみかけるのは、ご近所さん同士のあいさつやおしゃべりだ。

日頃から声をかけあっているからこそ、犯罪からみんなの生活を守れていて、災害の際は、当たり前のように助け合う。ご近所さん同士のおしゃべりは、情報交換にもなっていて、一人暮らしの高齢の方や、体が不自由な人などで、最近見かけない人がいれば、様子を見にいたり、行政と連携して支援も行っている。

高齢化は進んでいるが、支援も充実しているし、何より地域に「役割」があるからおちおち家で寝とられん。だけど、おかげでわしも友達もいつまでも元気でいきいきしとる。「安心して暮らせるまち」に地域のつながりや役割が必要なんだな。

総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

交流 編



いつでもどこでもだれとでも
広がる幸せの和



交流編 いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和

2028年。「やぁ、おはよう！」私が登校するときは、いつもいろんな人が声をかけてくれる。

小さいときから、さくらまつりや夏まつり、伝統的な警固祭り等、いろんなイベントに参加する機会があったので、仲の良い大人の人もたくさんいる！会うと長久手の文化とか歴史の話とかをしてしてくれるんだ。おかげで顔見知りの人も増えてきていて、みんな気軽に声をかけてくれる。

今は中学生になって、友達同士や家族で、文化の家や図書館や古戦場公園等によく行くよ！この前は、友達と文化の家のワークショップに参加したり、古戦場公園で昔のことを勉強したり、家族で警固祭りを見に行ったりしたよ。楽しいイベントや場所がたくさんあるから、「今日はどこに参加しようかな」「だれを誘おうかな」って迷ってしまうほど。

長久手市でやっているイベントやまちのオススメ情報なんかもホームページとかでたくさん発信されていて、長久手市に住んでいる人も住んでいない人もそれを見て情報を集めているみたい。実際に行った人がSNSで発信してたりして、長久手市の魅力がどんどん広がっていて、長久手に住んでいない人も住んでいる人もみんな楽しく交流できている気がする！長久手のことを知れば知るほど好きになるし、私ももっとたくさんの人に長久手のことを教えてあげたい！

中学からは部活を始めたから、運動もたくさんするんだけど、小さい子からおじいちゃんまでみんないろんなところで運動してるから私もやる気がする！

こうやって、気が向いたらいつでも、どこに行ったら、そこにいるだれかと、遊んだり運動したり、交流しながら暮らせて幸せ！

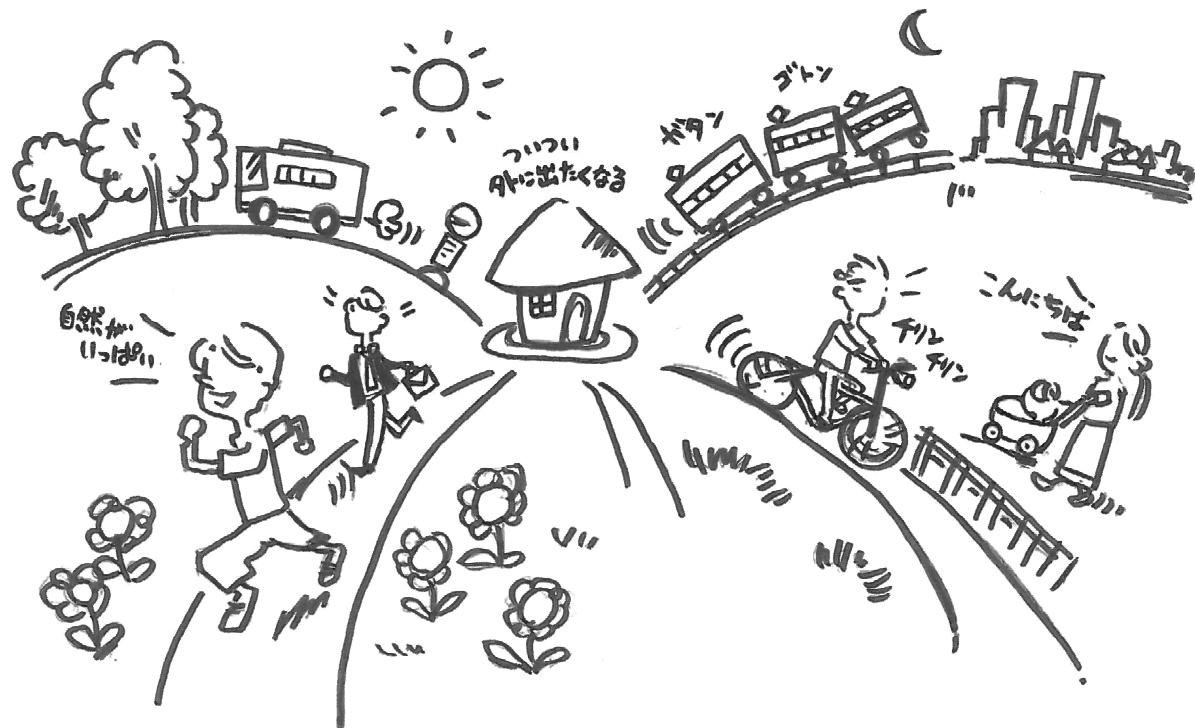
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

都市整備 編



あえて、歩いてみたくなるまち



都市整備編 あえて、歩いてみたくなるまち

2028年。私もじいさんも、ちょっと運転に自信がなくなって、運転免許を返納してしまったんだけど、それでも長久手は住みよいまちだよ。

リコモやN-バスなどの公共交通やそれ以外の移動手段も整備されていて移動しやすいから、買い物や通院には困らないし、公共施設にもストレスなくいけてとても便利。大きな荷物を運ぶ時とかには、いつも気にしてくれているご近所さんが出かけるついでに車で送ってくれたりして助け合っている。

便利であると同時に、長久手では、自然も大切にされていて、住宅地といいバランスで共存している。市内の住宅地には、庭の手入れをする方が増えて、あちこちで会話の花が咲いているなあ。まちの至る所に緑があるし、ちょっと歩けば道に花が咲いていたり、遊歩道もある。自然を感じながらまちを歩くのは楽しいし、健康にも良い。隣のお父さんも週末になるとお子さんと一緒に自転車で出かけていて楽しそう。私の友人は車に乗っているけど、整備された公共交通や「自分で行けるところは歩いたり自転車に乗ったりして自分で行く」という意識が根付いているからか、何年か前に比べて渋滞も少なくなって快適だし安心！って言ってたな。

このまちは誰にとっても、「安心して」、かつ「楽しく」外に出るための整備が進んでいる。

楽しいことがあると思うと、ついつい外に出かけたくなる。そういった人が多いから、このまちは賑やかで、活気づいているのね！

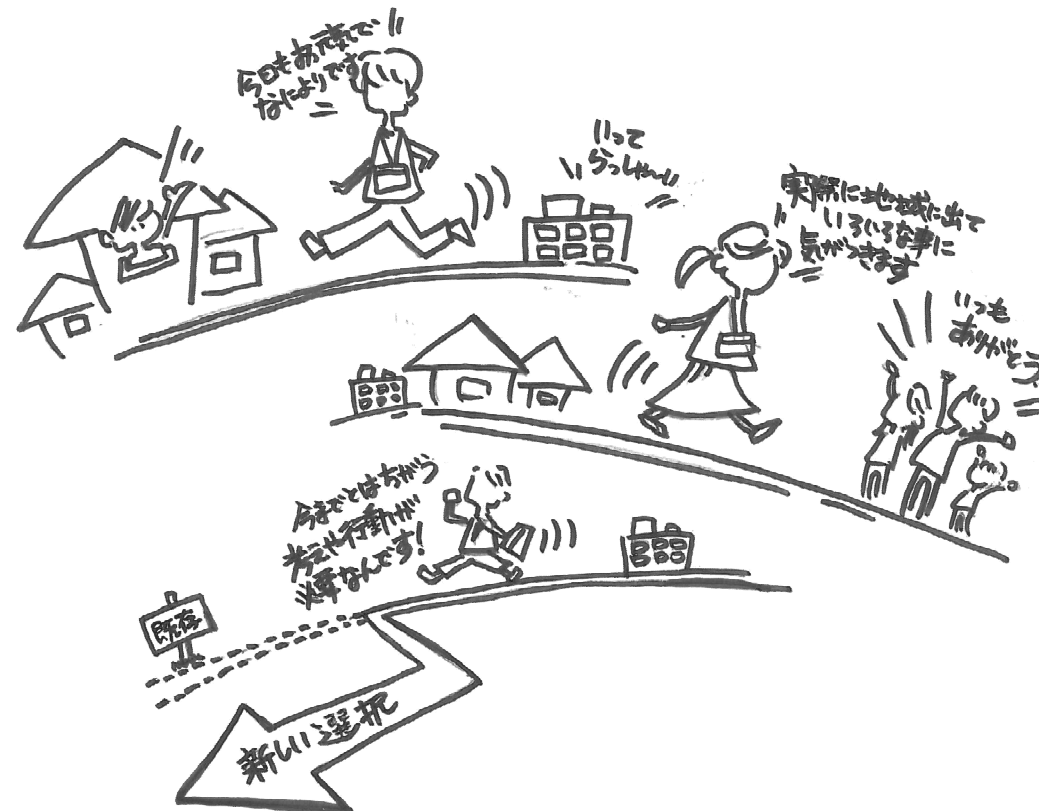
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

市政運営 編



職員が飛び出すまち



2028年。今、私の勤める長久手市役所では、「まち全体が職場だ！」という意識が職員に根付いている。このまちは、いろいろな課の職員がまちに飛び出したり、既存の枠から飛び出したような施策に取り組んでいることから、「職員が飛び出すまち」と言われている。

いろいろな課の職員が、時間をつくって、意識的にまちに出てみたり、公共施設を回ったりしている。「○○さん！」と、まちで呼び止められることが多くなったね、よく同僚とも話している。逆に、たいした用事がなくても、市民の方が市役所に気軽に訪ねてくれるようになり、市民と「顔の見える関係性」が築けてきている。「課題は、現場にある」とよく言われるけど、こうしてまちに出たり、市民の方と話をする中で、課題も、その解決の糸口も見つかるのだから、とまちに飛び出すようになってようやく気がついた。

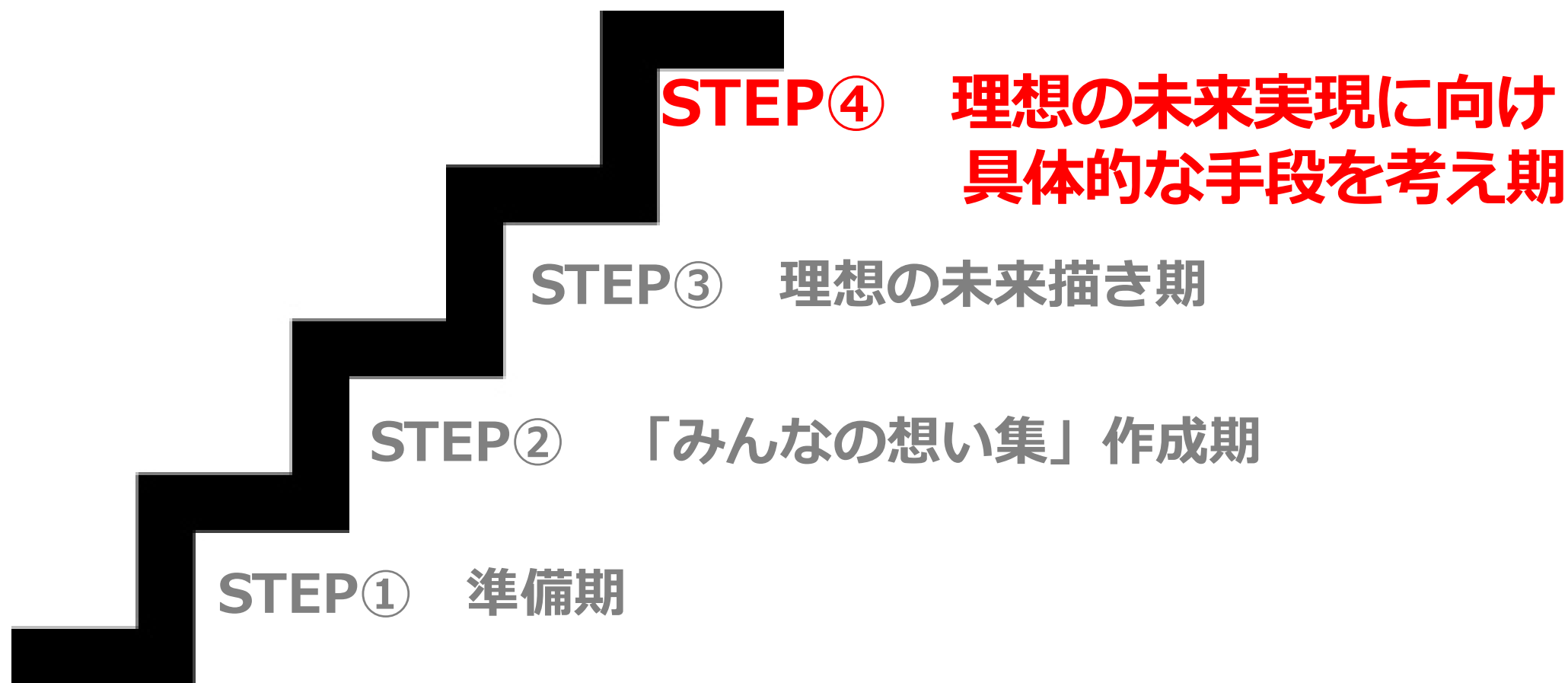
また、真の問題解決には、従来のやり方や既存の枠にとらわれていたり、一つの課だけで対応しようとするとうまく行かないことが多いということも、まちに出て対話して市民と向き合うことで分かってきたことだ。既存の枠を飛び出し、自分の課を飛び出し、他課やそして他市町とも連携することの必要性にも気づけた。

いろんな事に気付き、実践し、うまくいかないことに悩み、考え、そんな日々を過ごすうちに、どんどん長久手が好きになってきている。好きだからこそ、もっといいまちにするためにはどうすればよいか？を考え、積極的に業務を見直し改善に努めたり、もっといい職員になりたいと研修にも視察にも積極的に行くようになった。

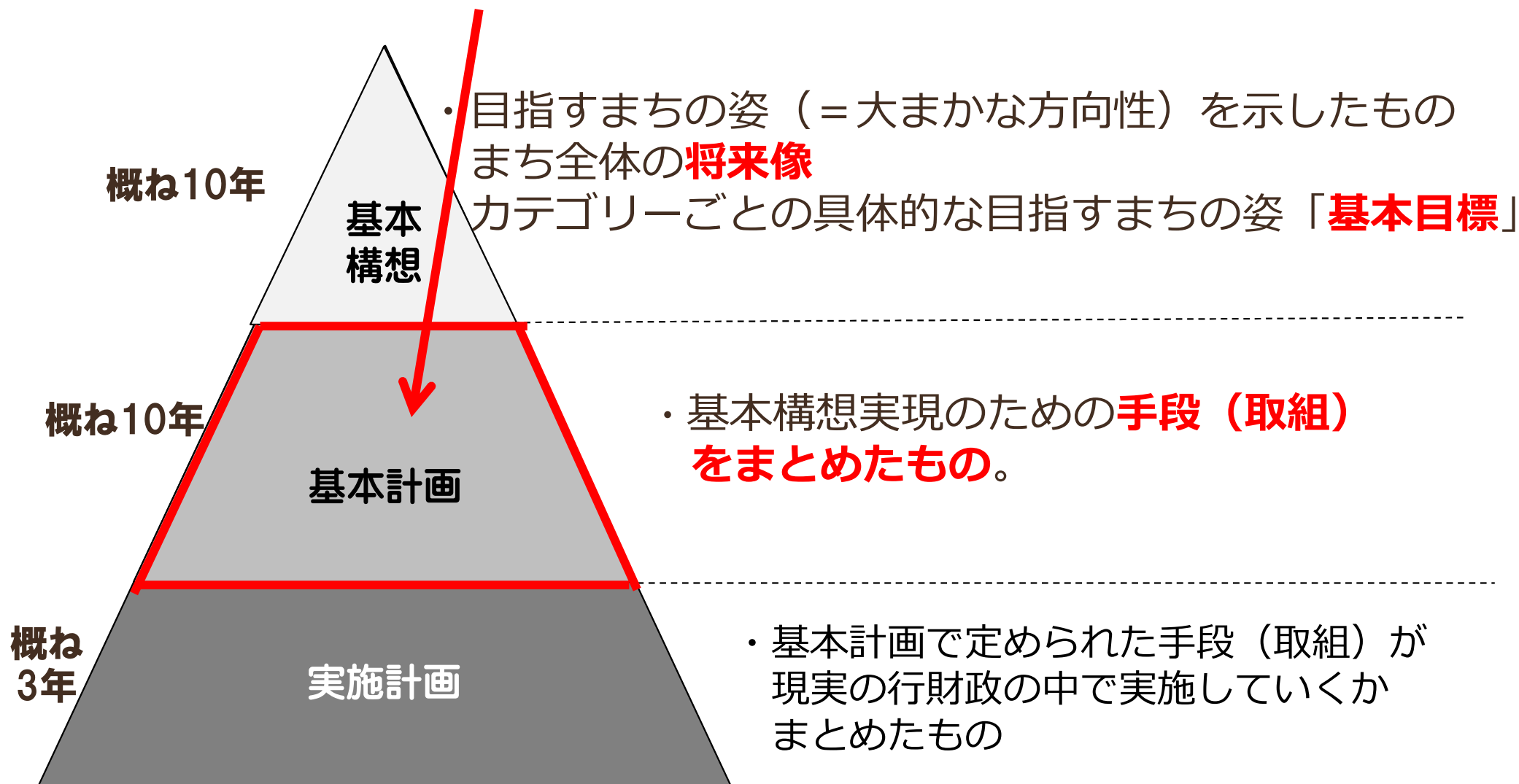
「元気な職員がいるまちは元気になる！」そう信じて、今日も飛び出そう！

これからの流れ

4つ目のSTEPへ！



第4、5回テーマ別検討会議では、 ここをつくっていきます！



これからの流れについて

<市民視点>

第4回テーマ別会議1/13

「未来の物語」実現のための手段を考える

<行政視点>

職員ワーキング1/18~

「未来の物語」実現のための手段を考える

事務局

2つの視点のアクションを体系的に整理

第5回テーマ別会議 1/28

整理した内容を、再度確認・検討！

庁内検討の上、計画をまとめていく！

グループ分け

キーワードを参考に、興味のあるカテゴリーを1つ選んでください！

人づくり

学校教育
次世代育成
女性活躍
生涯活躍
地域コミュニティ
協働

子ども

妊娠・出産支援
育児支援
保育環境

自然環境

みどり
里山
農業
自然環境
水辺環境
低炭素社会
景観

生活

地域福祉・高齢者福祉
障がい者福祉・健康
地域医療・市民相談
防犯・防災
交通安全・空き家

交流

観光交流
文化・芸術
歴史
スポーツ
大学連携
図書館

都市整備

道路
公共交通
公共施設
市街地整備

ワークショップ

自己紹介

□ グループ全員で5分

□ 自己紹介

⇒名前・ニックネーム・所属

お正月の過ごし方

アイスブレイク

『今年の抱負を
漢字一字で！』



個人ワーク

個人ワーク

**「物語を実現していく
手段を考えよう！」**



**「ながくて未来の物語」を実現していくために
必要な手段を付箋とワークシートを使って考
える！**

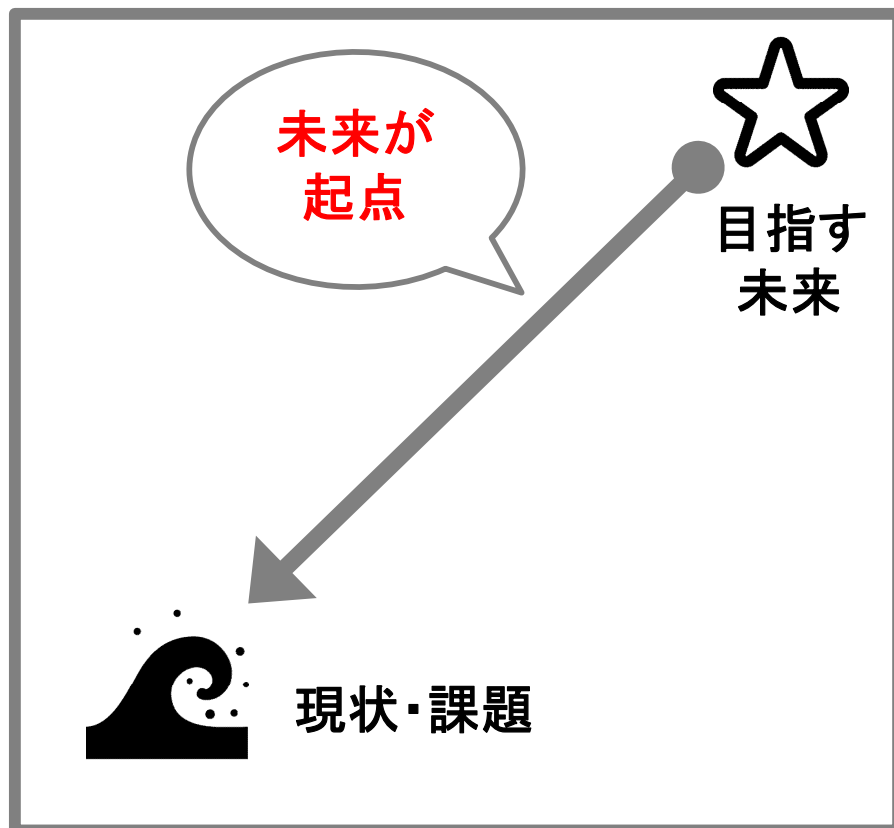
個人ワークに入る前に・・・

《手段を考えるためのアプローチ方法》

バックキャストイング

「ながくて未来の物語」
実現のための手段を、

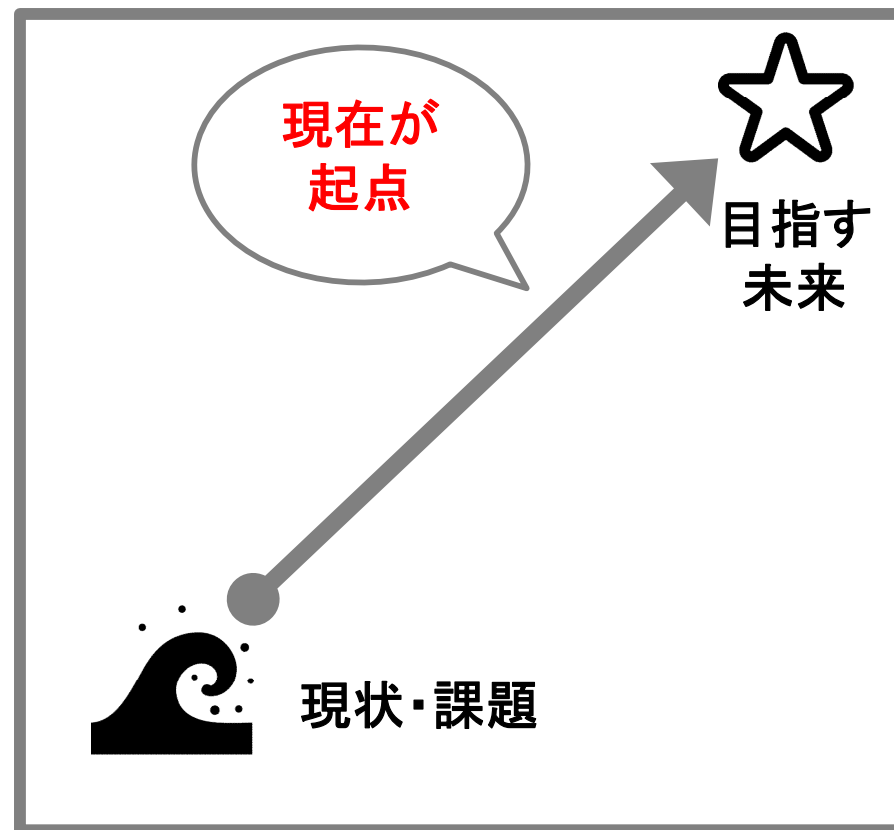
「目指す未来」
からの逆算で考える！



フォアキャストイング

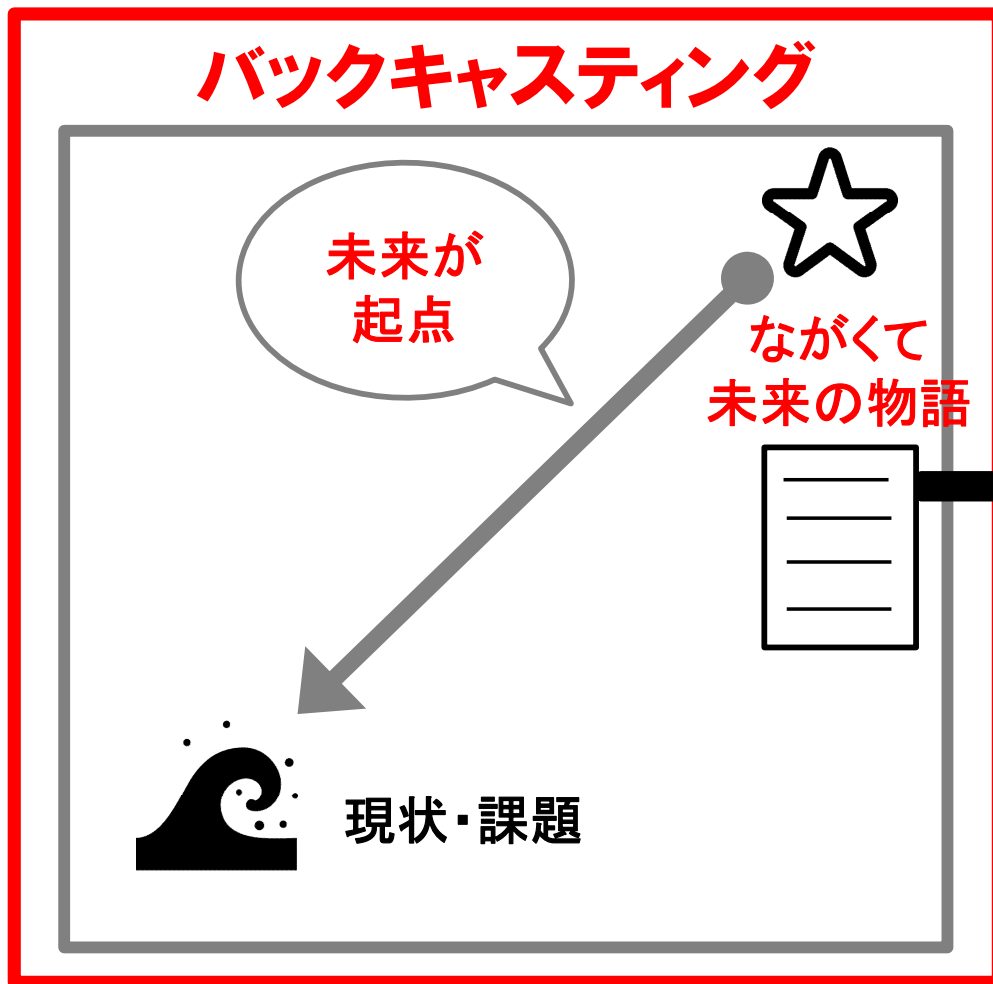
現在の課題解決
のための手段を、

「今」を起点に
積み上げて考える！



どのように「ながくて未来の物語」実現のための手段を考えるか？

物語をセンテンスに区切り、「**問い**」をつくりました！



その「**問い**」への
「**答え**」を考えることで、
未来の物語実現のため
の手段を考えましょう！

例えば、こんな「問い」があります

人づくり

小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会が多かった。学校でも「まち」について学ぶことがあったし、「地域コミュニティ」という言葉は当時知らなかったけど、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を、なんとなく周りの大人達から感じていた。

問 い

- ① 小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会を持つためには？
- ② まちに愛着を持ち、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を育むためには？

例えば、こんな「問い」があります

子ども

働きながらの子育ては不安だったけど、家族の理解や支え合い、産み育てる環境の整備、困った時にふらっと気軽に相談しにいける場があり人がいるおかげで、何かあったときの心のよりどころになっているなあ。

問







① 安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくるには？

い

② 働きながら子育てがしやすいまちにするには？

作業手順

ワークシートの「問い」ごとの「答え」欄に、
思いついたものをふせんに書き貼りましょう！

問い	●●●するには？	▲▲▲するには？	■■■するには？
答え	 <p>手段</p>	 <p>手段</p>	 <p>手段</p>
	 <p>手段</p>	 <p>手段</p>	 <p>手段</p>

例えば、こんな「答え」があります

人づくり

問い	小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会を持つためには？	まちに愛着を持ち、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を育むためには？
答え	<p data-bbox="533 552 1146 1054">小学校の授業で、「まちの魅力や課題」について考えるワークショップをする</p> <p data-bbox="533 1074 1146 1576">親子で市のイベントに参加するともらえる特典をつくる</p>	<p data-bbox="1384 552 1998 1054">まちづくりに熱心な人を特集したフリーペーパーをつくる</p>

例えば、こんな「答え」があります

子ども

問い	安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくるには？	働きながら子育てがしやすいまちにするには？
答え	<p data-bbox="533 552 1146 1056">放課後の子ども達の居場所づくり</p> <p data-bbox="533 1072 1146 1576">子育て世帯がだれでも気軽に参加できる交流イベントを開催する</p>	<p data-bbox="1384 552 1998 1056">女性の起業を応援する講座を開催する</p> <p data-bbox="1384 1072 1998 1576">子育て中の人が出た時間に少し働ける人材バンクをつくる</p>



作業のポイント

- 「行政がすべきこと」「協働ですべきこと」「市民ですべきこと」等、様々な視点で！
- 考えるのは具体的な手段です
- ワークシートの上段にある「キーワード」も意識しましょう
- 「問い」の答えではないけど、「キーワード」から考えられる今後必要なことも記入OK！
- 何個出してもOK！できるだけ多くの問いに答えてもらえるとなおよし！

グループワーク

**「ながくて未来図アクションカード
をつくらう！」**



個人で考えた手段を共有し、似たものを束ねたり、新たな視点を加えたりして、グループでアクション(=具体的な取組)をつくる

作業手順①

まずは、グループ内で個人で出した手段を共有

模造紙

ふせん

ふせん

ふせん

ふせん

ふせん

作業手順②

「問い」ごとに、ふせんの似たものを束ねたり、新たな視点を加えたりして、アクションカードをつくらう！

人づくり

Q ●●●●●●●●●●には？

A 実現するための取り組み

取組名

取組の概要

取組の名前を記載する！

取組の概要を**簡潔に**記載する！

例えば、こんな「アクションカード」ができます

Q 小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会を持つためには？

小学校の授業で、
「まちの魅力や課題」
について考える
ワークショップをする

高校生・大学生を対象
としたまちづくりアイ
ディアコンテストを
開催する

3つの中学の生徒が、
知り合いになれる
交流会を開催する

取組名

小中高大対抗！まちづくり甲子園の開催

取組の概要

市内の小学校、中学校、高校、大学それぞれで、まちの魅力を伸ばし課題を解決できるアイデアを考えるコンテストを開催し、各世代の代表チームが競い合う！多世代も交流できるし、自分の世代を応援するため校区を越えたつながりが生まれるかも？！

例えば、こんな「アクションカード」ができます

Q 働きながら子育てがしやすいまちにするには？

子育て中の人が出た
時間に少し働ける人材
バンクをつくる

「シェアリングエコ
ノミー」ってのがは
やってるらしいよ

取組名

子育てをもっと楽に！スキルのシェアリングエコノミー

取組の概要

自分が持っているスキルは、人から見ればすごいことかも？！

お互いの得意なこと交換し、もっと子育てしやすいまちにする！

例)裁縫得意！小学校の巾着袋つくる⇔カメラ得意！入学式の写真撮影



進め方のポイント

- 同じ要素を持つ手段を束ねたり、新たな視点を加えたりしてOK！
- 個人で考えた手段が、そのままアクションカードになるのもOK！
- 三人寄れば文殊の知恵！という意識で！
- グループで「**進行役**」を決めるとスムーズに進められると思います
- 「**3つの約束**」を必ず守ってくださいm (_ _) m

よりよい話し合い
のための約束

- ①まず、「傾聴」。
- ②言いたいことは簡潔に。
- ③人の意見を否定しない。